

さぬき市立就学前施設の在り方検討委員会 会議結果

- 1 会議日時 令和7年 6月 20日 (金) 19:00 ~ 20:30
- 2 会議場所 さぬき市役所 寒川庁舎 1階多目的ホール
- 3 出席者 [委員] 松原委員 杉浦委員 三谷委員 木曾委員 大山委員
黒川委員 亀井委員 寺井委員 多田委員 頼富委員
杉山委員 (欠席1名)
- [事務局] 健康福祉部 中川部長 教育委員会 佐藤部長
幼保こども園課 真部課長 学校教育課 樫村課長
幼保こども園課 西川
- [傍聴人] 1 人
- 4 議 題 1 さぬき市の就学前施設の現状について
2 就学前施設の今後のあり方について
- 5 資 料 ・就学前施設の現状と課題について

6 会議要旨

発言者	意見概要等
事務局	<p>【議案1 さぬき市就学前施設の現状について】</p> <p>さぬき市就学前施設の現状と課題について説明いたします。</p> <p>人口減少と少子高齢化は全国的に進行していますが、そんななかでも当市においては子どもを産む中心の世代となる「若年女性人口」(20代から30代の女性の数)が2050年までに半数以下になる「消滅可能性自治体」と言われており、出生者数は今後さらに激減していくことが予想されています。</p> <p>資料1 ページの2をご覧ください。</p> <p>さぬき市の就学前の子どもの数(0歳～5歳)ですが、5歳児の合計が225人に対して0歳児は122人と5年間で103人も減少しております。</p> <p>0歳児においては津田小学校区が8人、さぬき南小学校区が6人、さぬき北小学校区が8人と10人を割ってきており、就学前施設の入所率のさらなる低下が予想されています。</p> <p>資料の2 ページ目に各就学前施設ごとの入園児数を一覧にしています。</p> <p>津田小学校区内は公立のこども園(津田こども園)1園のみで、認可定員135人に対して入園者数は75人、入所率は、約56%となっています。</p> <p>さぬき南小学校区は公立の幼稚園1園(さぬき南幼稚園)と公立の保育所1園(富田保育所)があり、合計の認可定員数140人に対して入園者数は63人、入所率は45.0%となっています。</p>

	<p>さぬき南小学校区の入所率は校区ごとでは一番低い数値となっています。</p> <p>志度小学校区は公立の保育所（志度保育所）が1園、民間の保育園（岡野松保育園、あおぞら保育園）が2園、民間のこども園（よしいけこども園）が1園、公立の幼稚園（志度幼稚園）が1園あり、合計の認可定員数426人に対して入園者数は274人、入所率は、約64%となっています。</p> <p>志度地区においては民間の施設が充実しており、待機児童の問題解消につながっている反面、志度幼稚園の入所率は40.0%と低い数値となっています。</p> <p>さぬき北小学校区は民間のこども園（ひまわりこども園）が1園のみで、認可定員数85人に対して入園者数は69人、入所率は約81%となっています。</p> <p>さぬき北小学校区は令和5年度末にさぬき北幼稚園が閉園しており、就学前施設は民間のひまわりこども園1園となっております。</p> <p>寒川小学校区は公立の保育所が1園（寒川保育所）、民間のこども園が1園（認定こども園だいご）、公立の幼稚園が1園（寒川幼稚園）あり、合計の認可定員数205人に対して入所者数は108人、入所率は約53%となっています。</p> <p>うち、公立施設の状況は、寒川保育所の入所者数は定員60人に対して19人、入所率31.7%、寒川幼稚園の入所者数は定員50人に対して16人、入所率32.0%と低く、数年後には30パーセント台を切る可能性が高くなっています。</p> <p>長尾小学校区は公立の保育所（長尾保育所）が1園、民間のこども園（長尾学舎）が1園、民間の幼稚園（長尾聖母幼稚園）が1園、公立の幼稚園（長尾幼稚園）が1園あり、合計の認可定員数260人に対して入所者数は171人、入所率は約66%となっています。</p> <p>長尾小学校区の入所率は問題ない数値となっていますが、長尾幼稚園に限っては定員50人に対して入所者数12人、入所率24%となっています。</p> <p>造田小学校区は公立の幼稚園（造田幼稚園）が1園、民間の保育園（たらちね保育園）が1園あり、合計の認可定員数180人に対して入所者数は132人、入所率は約73%となっています。</p> <p>造田小学校区についても入所率は問題ない数値となっていますが造田幼稚園の入所率は定員50人に対して入所者数19人の38%となっております。</p> <p>次に市全体の保育所・こども園・幼稚園ごとの入所状況について説明します。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。</p> <p>配置図の後に保育所、幼稚園、こども園ごとの定員数、入所者数をのせています。</p> <p>保育所は公立が4園、私立が3園の計7園、認可定員数551人に</p>
--	---

<p>委員</p>	<p>対して入所者数は336人、入所率は61.0%となっています。</p> <p>うち、公立の入所率は定員320人に対して入所者数154人の48.1%となっています。</p> <p>公立の保育所はこども園化している津田地区を除く旧町ごとに各1園ずつ配置しています。</p> <p>幼稚園は公立が5園、民間が1園の計6園、認可定員数335人に対して入所者数は132人、入所率は39.4%となっています。</p> <p>公立施設だけでみえますと認可定員数310人に対して入所者数は117人、入所率は37.7%となっており、近年、共働き世帯の増加や幼児教育・保育の無償化により利用料が高額になりがちであった保育所や認定こども園が利用しやすくなったこともあり利用者のニーズは保育園や認定こども園にシフトする傾向が顕著になってきています。</p> <p>公立の幼稚園はこども園化している津田地区を除いた旧町ごとに1園、旧長尾地区においては2園が配置されています。</p> <p>こども園は公立が1園、民間が4園の計5園、認可定員数545人に対して入所者数は424人、入所率は77.8%となっております。</p> <p>資料の5ページに現状の課題を挙げています。</p> <p>現実問題として入所児童数は今後も減少していき、近い将来には施設数が過剰となることが懸念されています。</p> <p>資料に県内の1施設当たりの入所児数を載せていますが、さぬき市は1施設当たりの入所者数が47.3人と県内8市のなかで最も低い数値となっています。</p> <p>公立施設だけで見えますと1施設当たりの入所者数は34.6人、特に幼稚園は1施設当たりの入所者数が少なく23.4人となっており、集団生活による幼児教育の充実といった点を満たすことが難しくなるなどの課題がでています。</p> <p>次に資料の6ページと7ページをご覧ください。</p> <p>6ページには公立施設の建築状況、7ページには令和元年度以降に実施した修繕・工事等の経費をまとめています。</p> <p>公立の施設においては建築から相当の年数が経過している建物が大半を占めており今後は大規模な改修等を要するなど維持管理経費がさらに高額になる見込みです。</p> <p>最後に志度保育所については4月1日時点の入所者が53名と公立の施設では多くの方に利用していただけていますが南海トラフ地震発生時の津波による浸水想定区域内に位置していることも考慮する必要がありますと考えています。</p> <p>私立の施設はどうか経営を維持している状態であるが子どもの減少が著しいためこの施設も不安を抱えている。特に子どもの減少が多い地域の施設はなおさらである。民間としても努力していこうと考</p>
-----------	---

	<p>えてはいるが現在の公私立あわせた 18 施設のままでは 5 年後には経営できなくなるのではないかと思う。</p>
委員	<p>施設長の役割は安心安全に通園してもらうために対策を講ずることが重要であると考えている。</p> <p>施設老朽化であるが、修繕を行い、安全の確保は必須。公立施設も建築後相当年数が経過しているため同様であると思われる。</p>
委員	<p>子どもの取り合いになってはいけない。</p>
委員	<p>集団生活を行うことは必要。志度幼稚園は園児数が少ない状況であるため他園との交流を増やしてはどうか。</p>
委員	<p>施設によっては少子化のため集団生活行動ができないと思う。</p>
委員	<p>地域をまたいでの統合は小学校に上がる際に別々の学校に通学しなければならない可能性があるため考慮しなくてはならない。</p>
事務局	<p>【議案 2 就学前施設の今後の在り方について】</p> <p>少子化が加速していくなか現在 10 施設ある公立就学前施設の規模や配置をどのようにしていくかというところが一番大きなテーマでありまして、ここにたどり着くために 1 施設あたりの適正な規模（例えば、1 クラス最低何人以上 × 学年数）とかを算出すればある程度は将来、必要となる施設数が算出できるのではないかと考えています。</p> <p>ただし、少子化は進行していくため、最初は 1 クラスの人数を多めに設定しておく必要があるとは考えています。</p> <p>この点についてはおもに各保育所、こども園、幼稚園の代表委員にご意見をお願いしたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浸水想定区域にある志度保育所をどのようにしていくか ・ 民間施設が充実している地域(志度・長尾地区)における公立施設の在り方 ・ そのほか委員の皆さんが考える就学前施設の在り方 <p>以上、どの点についてでも結構ですので全委員からご意見をいただきたいのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>高松市では、2 クラスで 10 人以下になれば対応を考えていくとしている。</p> <p>1 学級が少人数の場合は保育の目が行き届くことにより保護者の安心感は大きく良い面もあると思われるが少人数よりも集団で活動する</p>

	<p>ことのほうが友達同士からの学びや遊びの中から学ぶことは多い。1学級5人が最低のラインではないか。</p>
委員	<p>施設経営者としての経験値から1学級5人が最低のラインは同意見である。集団生活での学びは重要である。</p>
委員	<p>適正規模の人数はわからない。少人数保育を方針としている施設もあると思う。</p>
委員	<p>適正規模の具体的な人数はわからないが、ある一定程度の人数は必要であると考えており少子化である以上、再編は時代の流れである。</p>
委員	<p>その施設独自の取組を踏まえて定員を考えていくのではどうか。支援を要する子どもも増加している。</p>
	<p>【津波浸水想定区域内に位置する志度保育所について】</p>
委員	<p>子どもたちの安心安全の面については充分とは言えない。避難訓練を実施はしているものの国道を渡り志度公民館までの距離もあるため避難時間もかかる。実際の災害時に訓練同様の避難ができるか否か不安である。平成16年の災害時の実例もあるため保育所機能を残しながら安全な別の場所に移転することが必要。</p>
委員	<p>保護者は高台への移転により安心ができる。ただ、送迎のことを考えると利便性の良い文理大学跡など、国道に隣接しているところが良いと考える。</p>
委員	<p>子どもの安全、特に子どもの命は大人が守っていかなければならない。志度保育所の浸水の案件については10年以上前から出ている話である。いつ起こるかもしれない状況である。後悔があってはならない。</p>
委員	<p>東かがわ市は早くからこども園化の取り組みにより現在3園となっている。さぬき市においても早く一步をふみだしてもらいたいと思っている。</p>
	<p>【その他】</p>
委員	<p>施設の統廃合になっても引き続きひとり親家庭にも目を向けた支援が必要であると思う。</p>
委員	<p>施設の統廃合を考える場合、多和・前山・小田といった遠方からのアクセスも考慮しなければならないと思う。</p>

	以上
--	----

